

適正利用・エコツーリズムワーキンググループ及び検討会議の 経過報告・今後の予定

1. 令和7年度適正利用・エコツーリズムワーキンググループ及び検討会議の議論

第2回ワーキンググループ（以下、WG）及び検討会議を令和8年3月10日（火）に開催した。主な報告内容及び指摘事項は下記のとおり。

（1）長期モニタリング計画に基づく調査結果の報告

- ・モニタリング項目のうち適正利用に関わる調査結果(No,19、20、21)の報告が行われた他、地域が感じている近年の課題や変化について関係団体より意見をいただいた。

（2）個別部会からの進捗報告

- ・厳冬期の知床五湖エコツアー事業、知床五湖利用調整地区の運用、カムイワッカ地区の取組、ウトロ海域協議会の取組状況についてそれぞれ報告がおこなわれた。
- ・カムイワッカ部会からは、交通アクセスや普及啓発など広域課題を検討する場の設定の必要性について課題提起があった。

（3）各機関からの進捗報告

- ・夜の知床五湖における星空観察事業、Shiretoko Adventure Festival 2025、シレコプロジェクトの取組についてそれぞれ報告が行われた。

（4）インタープリテーション全体計画の進捗について

- ・知床の価値を伝えるストーリーブックの完成イメージと来年度以降の展開予定について報告が行われた。参加者からは、地域からの意見をまとめて策定されたものであることを発信する必要性についてご指摘をいただいた。

（5）知床エコツーリズム戦略の見直しについて

- ・戦略改訂に向けた構成案の骨子及びゾーニングの規定、既存の計画類の整理について方針をご説明し、来年度の作業の方向性について了承をいただいた。

（6）羅臼岳ヒグマ人身事故を踏まえた検証と対策の方向性について

- ・昨年8月に発生した人身事故に係る検証と対策の方向性について、主に情報発信と注意喚起の点について、WG委員及び地域関係者にご議論をいただいた。

（7）その他個別事項

- ・エゾシカWG及び科学委員会においてご指摘をいただいた、知床沼野営指定地における植生モニタリングの実施状況についてWGにおいて報告が行われた。

2. 令和8年度の会議運営予定

ワーキンググループ及び検討会議を各2回開催予定